

令和5年度 第4回 三ヶ日中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年2月7日（水）15時00分から16時30分まで
- 2 場 所 三ヶ日中学校 会議室
- 3 出席委員 高橋一浩、渥美浩明、山田善万、岡本和久、寺田祐真、清水久美子、永田洋介
- 4 欠席委員 御園崇、長坂恭輔、鈴木あゆみ
- 5 オブザーバー 井口敏浩（三ヶ日協働センター）
- 6 学 校 江間昌史（校長）、河合司（教頭）、岡田充弘（教務主任）、西田光男（CS ディレクター）
- 7 傍 聴 者 1名
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 西田光男

9 議長の選出について

司会の河合教頭から、議長の選出について、これまで同様に高橋会長を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 学校評価について
- (2) 学校運営評議会評価について
- (3) 三中祭について
- (4) 総合的な学習の時間について
- (5) その他（来年度に向けて）

11 会議記録

司会の河合教頭から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校評価について

議長の指示により、別紙資料に基づく学校評価の結果について、生徒の考えを聞く機会を設けた。その後に、委員だけでのグループ協議を行った結果、委員からは以下の報告があった。

A グループ（高橋会長、岡本委員、永田委員）

- ・「321運動（3分前入室、2分前着席、1分前黙想）」の取り組みが素晴らしい。生徒同士で呼び掛けをしている活動の様子を聞き、これからも続くよう期待している。

- 通学に使用するかばんの変更について、生徒同士で話し合ったことが分かり、自分たちで考えてきたという過程が素晴らしい。
- 学校生活が楽しいと答える生徒が多く、具体的な例を生徒に尋ねたところ、「行事」「部活」「友達とのふれ合い」を挙げていて、その理由も明確に話すことができていて頼もしく思った。
- これからの学校生活の改善点を尋ねると、「今以上に、意見を出し合える雰囲気を作り、めりはりのある生活を心がけていきたい」という思いであることが分かり、より期待をもつことができた。
- 将来の目標や夢についても、「やりたいことがある」と答えていて、小学校から中学校にかけての総合的な学習で「職業」について学んだり、体験したりしてきたことの効果が表れているのではないかと感じた。
- 先日行われていた「金融教育」はとてもよい取り組みだ。以前は、学校で教えてもらえなかったことだが、将来間違いなく必要になることだから、これからも続けてほしい。

Bグループ（渥美委員、山田委員、寺田委員、清水委員）

- 「挨拶運動」「募金活動」や「AED map 作成の活動」について、生徒の感想や意見を聞くことができた。地域の大人の方々とも関わりをもって、それらの活動を広げていきたいという思いを知り、我々地域の大人も、より関わりが深められるよう努めていきたいと思う。
- 将来の夢や希望について尋ねたところ、部活での活動をもとに高校生活を考えたり、職業を考えたりしていることが分かった。卒業生などの先輩から情報を得ていく機会があれば参考になり、将来への具体像が明確になるのだと感じた。
- 「学習や生活についての先生への相談しやすさ」の調査項目では、保護者の回答と比べて、生徒の方が10%近く低かったため、相談のしやすさについて尋ねたところ、「学習や部活については先生に相談しやすいが、生活面のことは聞きにくいこともある」とのことであった。人間関係の悩みや思春期特有の表れなどへの対応には、本人との関わりを深めていくことが大切であると思われる。
- 「学校が楽しい」と答えている生徒が多いのは、嬉しいことである。「楽しい」と感じることは、全ての活動の原動力でもあり、とても大切である。
- 「計画的な家庭学習」の調査項目では、できているという回答の数値が保護者も生徒も低い。「大らかで楽観的な地域特性」がその理由の一つではないかという意見も出た。そこは、長所でも短所でもあるととらえ、子どものよさに目を向けて、主体的に学習できるように保護者や先生方と共に子どもたちを育てていきたい。

(2) 学校運営協議会評価について

議長の指示により、別紙資料に基づく学校運営協議会評価についてのグループ協議を行い、委員から以下の報告があった。

A グループ（高橋会長、岡本委員、永田委員）

- 学校運営協議会の様子も含め、学校がよく分かるような情報発信がなされていて、情報がとてもオープンでよい。ブログも適宜出されていて素晴らしいが、ただ紙媒体の情報も紙媒体なりに大事なもので、これからも続けてほしい。
- 学校運営協議会の雰囲気がとてもよい。前向きに色々な意見が出て、話し易い雰囲気である。「やってはいけないことを決める」という会議ではないことがよいと思う。

B グループ（渥美委員、山田委員、寺田委員、清水委員）

- 三ヶ日中学校の教育活動は素晴らしいので、地域ぐるみの活動にはさらに多くの人を巻き込んでいけるようにしていきたい。総合的な学習の時間での生徒と地域の方々との関わりをさらに広げ、運営協議会委員の立場を越えて支援の輪を広げるよう努めたい。
- 学校、家庭（あるいはPTA）、地域の三者がさらに連携を深めるためには、様々な教育活動について、それぞれがどういう考えや思いをもっているのか、確かめ合う機会がもてるとよい。

(3) 三中祭について

議長の指示により、教頭から、本年度の三中祭が展示見学に変更されるまでの計画報告があった。その上で委員に意見を求めたところ、以下の発言があった。

- 生徒に向けての発表がゴールではなく、地域に向けて発表するために、SNS等を利用した方法を検討することもよいと思う。（寺田委員）
- 発表の機会がなくなってしまったのは、残念であった。今後は、発表の仕方をコンパクトにして、時間を短くする方向で考えていきたい。（河合教頭）

(4) 総合的な学習の時間について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき総合的な学習の時間についての説明があり、委員に意見を求めたところ、以下の発言があった。

- アドバイザー会議にアドバイザーの皆さんが積極的に参加できるよう声掛けをして、生徒にアドバイスする回数を増やすことも必要だと思う。（寺田委員）
- 本年度は8つのグループで活動してきたが、生徒数の減少等も鑑み、来年度以降は7グループにする予定である。MKB（牡蠣を使っての三ヶ日町の活性化を目指すグループ）のグループが解散することになっている。（河合教頭）

(4) その他（来年度に向けて）

- 来年度はグランドデザインを改善していく予定である。「困難を乗り越えるたくましさ」を身につけることを目標の一つとして付け加えたい。（江間校長）

司会から、来年度の第1回会議は2024年4月19日（金）午後3時より三ヶ日中会議室で開催する旨の報告があった。また、第2回以降の予定も合わせて報告された。

- ※会議終了後、会長の都合により、第1回会議は「2024年4月23日（火）午後3時から」に変更された。